

災害・震災用仮設トイレシステム

『このトイレは、災害・震災時に使用できる仮設トイレです』

I 目的

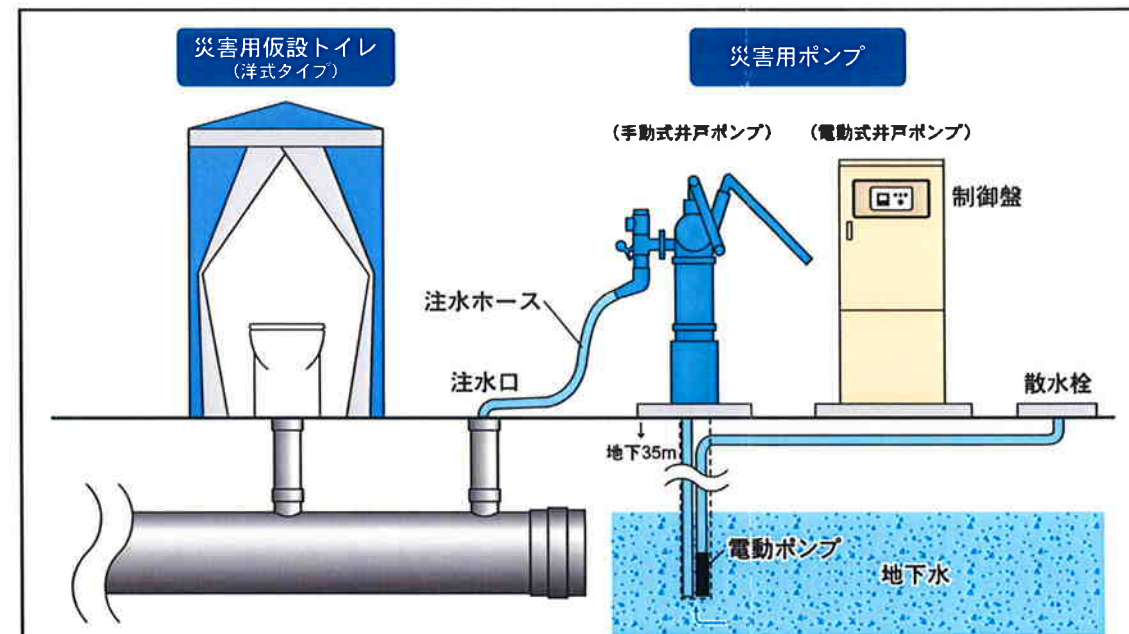
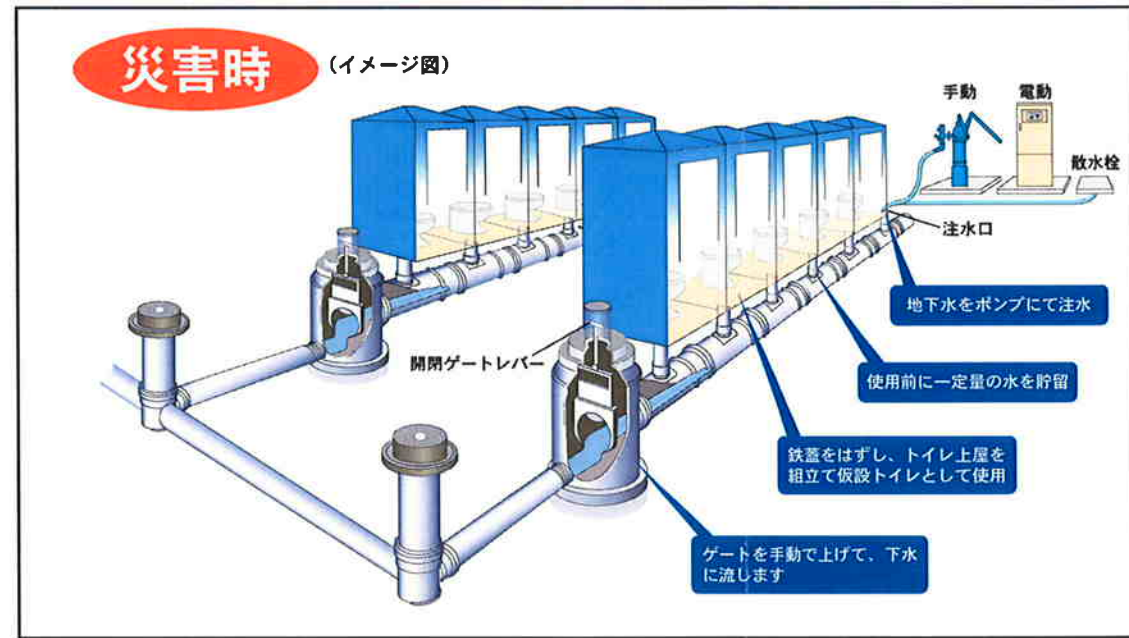
本システムは、大地震などの大規模な災害発生に伴い、上水道が断水し、水洗トイレの使用が不能となった場合でも、地下水を利用して被災者が衛生的に安心して使用できる仮設トイレです。

II 災害・震災時（非常時）の作業手順

- 1 備蓄品の搬出
公園管理棟内の防災備蓄倉庫に保管してある**仮設トイレ部材**を搬出します。
- 2 組立・設置
 - ①仮設トイレの『取扱説明書』を参考にして、3～4名が一組となり組立・設置します。
 - ②トイレ排水用の蓋をバールで開けて内蓋を取り外します。（バールは管理棟内）
- 3 汚物の排水
 - ①最初に各災害用仮設トイレ本管内部（塩化ビニール管）に、**水が溜まっていることを確認**します。（もし、水が溜まっていない場合は、**電動式井戸ポンプ**、又は**手動式井戸ポンプ**で地下水を汲み上げて、注水ホースで**注水口**から水を溜めます。）
井戸ポンプの取扱については、制御盤内にある『取扱説明書』を参考にして下さい。制御盤内に**切・手動・自動の切替スイッチ**があります。（手動式の場合は、「切」、電動式の場合は「手動」又は「自動」にして下さい。）
 - ②最低1日に1回は、排水ゲートのマンホール蓋を開き、**開閉ゲートのレバーを一気に引上げて排水**をします。
 - ③排水後、しばらくの間はその状態を保持し、内部の汚物が完全に流れたことを確認した後、**開閉ゲートのレバーを最下端まで押し下げ閉めます**。
 - ④排水ゲートのマンホール蓋を閉めた後、**注水口の蓋を開けて電動式井戸ポンプ**、又は**手動式井戸ポンプ**で、地下水を汲み上げて**注水口**から水を溜めます。
（制御盤の鍵、バールや開閉レバー・手動式井戸ポンプレバー・注水ホースは、管理棟内に保管して有ります。）

注意！ この水は飲みません！

大田区糀谷・羽田まちなみ維持課 電話3741-1946



注意！ この水は飲みません！

東糀谷防災公園総合案内板



- だれでもトイレ
- 駐車場
- 駐輪場
- 公園受付
- 防火水槽(40t)
- 災害用トイレ
- 水飲み

この公園は、糀谷地区自治会連合会及び地域住民を構成員とする糀谷地区再開発協議会の方々のご尽力により、平成19年3月に東京都より「都市公園用地」として大田区が購入しました。
 公園の整備にあたっては、同協議会が中心となっている「仮称東糀谷四丁目公園づくりワークショップ」の計画案を基に防災公園として完成いたしました。公園の愛称は、近隣小学校の多くの児童から選ばれた「わくわくランド」となりました。
 また当公園は、防災機能を持つ施設として仮設テントの設営や災害用トイレの設置、飲料水及び食糧等の備蓄があり避難者を受け入れることができます。大田区地域防災計画において『補充避難所』として位置づけられております。

公園敷地総面積：27,945㎡
 公園外周延長：665m（園路外周：約660m/周）
 公園完成日：平成23年3月15日

大田区 糀谷・羽田まちなみ維持課 電話3741-1946